

2024年4月25日

わいた第2地熱発電株式会社の地熱発電プロジェクトへの ファイナンス実行のお知らせ

株式会社熊本銀行（取締役頭取 坂本 俊宏）は、株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長 CEO 大見 秀人）リードアレンジャーの元、株式会社肥後銀行（代表取締役頭取 笠原 慶久）、株式会社脱炭素化支援機構（代表取締役社長 田吉 禎彦）とともに、わいた第2地熱発電株式会社（代表取締役 赤石 和幸）に向けて、共同アレンジャーとして地熱発電所のプロジェクトファイナンスを実行いたしましたのでお知らせいたします。

わいた第2地熱発電は発電事業を通じた地域活性化と脱炭素化社会の実現に向けて、ふるさと熱電株式会社（代表取締役 赤石 和幸）がスポンサーとなり、熊本県阿蘇郡小国町で2026年3月の商業運転開始に向けて出力4.995MWのフラッシュ型地熱発電所の建設を進めてまいります。

熊本銀行では、「あなたのいちばんに。」をスローガンに、お客さまのサステナビリティ経営の実現に向けた取組みを積極的に支援してまいります。

記

■ わいた第2地熱発電の概要

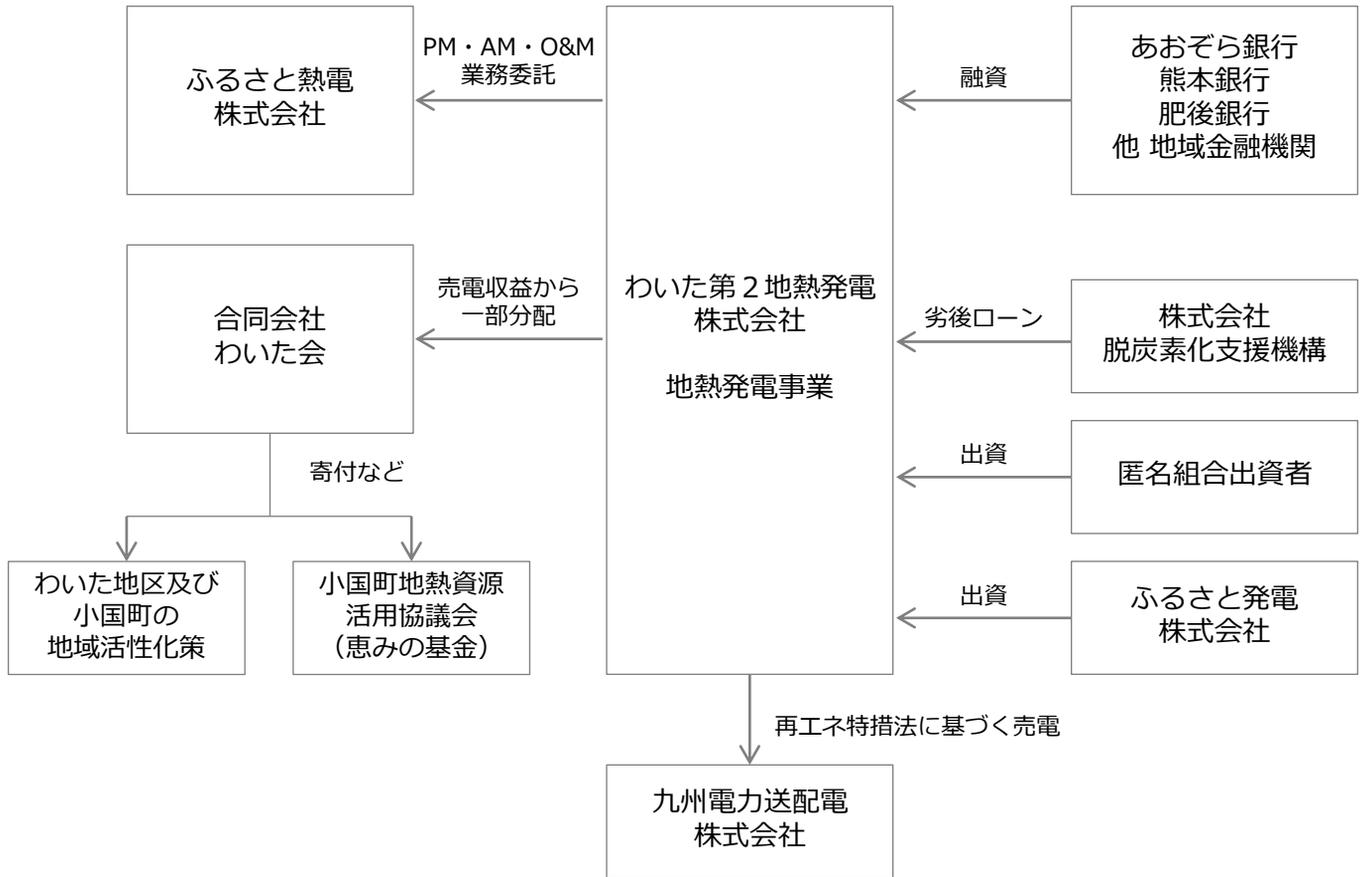
名称	わいた第2地熱発電株式会社
代表者	赤石 和幸
設立	2022年8月2日
所在地	熊本県阿蘇郡小国町宮原2322番1号
出資総額	1億円
株主	ふるさと熱電株式会社

■ 本プロジェクトファイナンスの概要

借入人	わいた第2地熱発電株式会社
組成金額	56.62億円
契約締結日	2024年3月28日
リードアレンジャー	株式会社あおぞら銀行
共同アレンジャー	株式会社熊本銀行、株式会社肥後銀行
メザニンローン*提供者	株式会社脱炭素化支援機構

*他の債権よりも優先的に返済されるシニアローンより返済順位が劣後するローン

■ スキーム図



■ 本プロジェクトがもたらす環境と経済に対する効果

① 温室効果ガス（GHG）の削減

地熱発電所の設置により、再生可能エネルギー（地熱発電）を供給することで、既存の電力からの置き換えによるGHG排出削減に寄与することが想定されております。また地熱発電の導入に伴う発電段階のGHG排出の削減に加え、グリーンハウス栽培や建材の乾燥工程などさまざまなところに廃熱を有効活用することにより、更なるGHG削減効果が期待されております。

② 地域経済と環境に対する好循環

本プロジェクトは、売電収益の一部が地域に還元されるスキームを用いており、地域活性化への貢献度が高い事業となっております。具体的には、温泉観光施設や生活インフラの整備資金等へ活用される予定であり、プラントの運営の他、排熱をさまざまなところに有効活用することで、地域住民の雇用が創出されることも期待されております。

地域住民が主体となり、外部の専門業者のノウハウを取り入れながら地熱発電所の開発を行うことで収益性と地域活性化を両立する「わいたモデル」のもと、地熱資源を有する他の温泉地域への展開も想定されております。

以 上

《 本件に関するお問合せ先 》
 (株)熊本銀行 ソリューション営業部 担当：池田・猪俣
 TEL 096 - 385 - 1280